

### 議事要旨(3) 「退職給付専門委員会における検討状況について」

冒頭、逆瀬専門委員長及び前田専門研究員より、IASB の公開草案 (ED) 「従業員給付の割引率」へのコメント対応について、審議資料に基づき説明がなされた。その後、次のような質疑応答が行われた。なお、審議が予定されていた「アセット・シーリングの導入の要否」については、本日の審議では取り扱わない旨の説明がなされた。

#### ED 公表の背景について

- ある委員より、ED が公表された背景について質問があった。これに対して事務局より、ED の審議を行った今年 7 月の IASB 会議の資料などによると、優良社債に厚みのある市場がない地域では、国債を使用することで負債が相対的により大きく計上されてしまうという懸念が出ているようであり、それが背景と考えられる旨の説明があった。

#### ED に対してコメントしないという事務局案について

- 他の委員より、優良社債について厚みがある市場が存在しない場合に IAS 第 39 号「金融商品：認識及び測定」(IAS39) のガイダンスを参照して優良社債の利回り (割引率) を見積るという ED の提案について、これにより客観的で信頼性のある割引率が導き出せるということは実証されているのか質問があった。これに対して事務局より、ED では実証までされていないが、見積られた優良社債が国債よりも客観性に欠けるのではないかという問題に対して、IASB は、IAS39 のガイダンスを参照することで、他の会計上の見積りと同程度の客観性を確保し得るとしている旨の説明があった。
- さらに同じ委員から、審議事項(3)-2 の 2 案で記載されている問題点や、上記の、IAS39 のガイダンスに従った場合の割引率決定に対する信頼性・客観性に対する問題点についてコメントしてはどうかという意見があった。これに対して事務局より、この ED の提案は緊急避難的なものであり、IASB が割引率に関して、今後包括的な議論を行う予定であることなどを考慮した結果、コメントは行わないという事務局案 (審議事項(3)-2 の 1 案) としていることの説明がなされ、また、信頼性・客観性の問題は、本 ED の本旨とは異なる問題と考えるべきではないかとする回答がなされた。
- また他の委員から、ED では、現行 IAS19 の割引率決定のガイダンスを削除し、既存の IAS39 の公正価値測定のガイダンスに置き換えることが提案されているが、実際に実務が機能するのか懸念がある旨の意見があった。これに対して事務局より、債券の場合、公正価値と利回りの見積りは表裏の関係にあると考えられるとした上で、このガイダンスが機能するかは、先の議論 (割引率決定に対する信頼性・客観性の問題) と同様に、本 ED の本旨とは異なる問題と考えるべきではないかとする旨の説明があった。

以 上